

東北食農連携ネット

“FACNeT”

東北ハイテク研究会



No.2 (2017.5)

東北食農連携ネット“FACNeT”第2号をお届けします。

第2号では、6月29日(木)に仙台で開催します東北ハイテク研究会の総会に引き続いて開催します記念講演会の案内をさせていただきます。

東北食農連携ネット“FACNeT”講演会

《今回の講演会のねらい》

アグリ知財とその活用が日本と世界の未来を変える！！

東北地域における農業・食品産業の発展を図るには、生産者、実需者、そしてイノベーションを支える研究者の連携が不可欠です。こうした多様な主体の連携の組織化と活動のスムーズな推進のためには、相互にWin-Winの関係を作り上げることが必要です。こうしたWin-Win関係構築の柱になるのが知的財産の活用と管理です。そのため、今回の講演会では農業知財の弁理士として活躍している吉永貴大さんをお招きして「世界と戦うための農業ビジネス戦略と知的財産管理」というテーマで講演をお願いいたしました。

IoTの次に来るIoA「ハプティクス義手」の衝撃！！

ICTやAIが農業を変えるという言葉が最近よく耳にします。また、IoTなる言葉も耳にするようになりました。でもIoAを知っている人はほとんどいないのではないのでしょうか。IoT《Internet of Things》は、あらゆる物がインターネットにつながり、新たなサービス、ビジネスモデルを創造する技術を意味します。一方、IoAは、人の能力がインターネットとつながる(能力のネットワーク化)により高い能力(アビリティ)を発揮する機会が広がる(Internet of Abilities)ことを意味します。ハプティクス《haptics, haptic technology》とは、触覚を通じて情報を伝達する技術を意味します。今回の講演会では、人工知能を内蔵したロボットハンドの開発で超高品質農業の創造を目指す取り組みを行っている慶応義塾大学ハプティクス研究センターの野崎先生に講演をお願いいたしました。



平成29年度農林水産省・東北地域農林水産・食品ハイテク研究会主催
東北食農連携ネット(FACNeT)講演会

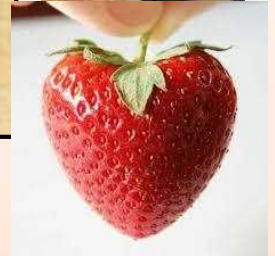


《講演》

アグリ知財とその活用が日本と世界の農業の
未来を変える！

世界と戦うための農業ビジネス戦略 と知的財産管理

吉永国際特許事務所所長 弁理士 吉永貴大



IoTの次に来るIoT「ハプティクス」の衝撃！

人工知能内蔵型ロボットハンド (ハプティクス義手)で 超高品質農業を創造

慶応義塾大学ハプティクス研究センター
野崎 貴裕



日時：平成29年6月29(木) 14:10～17:00

場所：TKPガーデンシティ仙台勾当台 ホール5

仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビル



本講演会は、農林水産省の実施する委託事業「知的財産の技術移転加速化事業及び産学連携支援事業」の一環として実施するものです。なお講演終了後に、講師先生との相談会、名刺交換会を予定しておりますので、是非ご参加ください。

【参加申し込み先】

東北地域農林水産・食品ハイテク研究会 事務局 藤井 孝咲

〒020-0198 盛岡市下厨川字赤平4 (国研)農研機構東北農業研究センター内

TEL : 080-2806-9926

FAX : 019-643-3460

E-mail : tohoku-hightech@kej.biglobe.ne.jp